

2020年7月1日

各位

東京都千代田区神田錦町2-1-1  
安田不動産株式会社  
代表取締役社長 中川 雅弘

## 2020年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 2020年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）  
安田不動産株式会社  
経営企画部 西川・志村  
TEL 03-5259-0517

1. 2020年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(2020年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>14,480</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>18,406</b>
現金及び預金	6,624	1年以内返済長期借入金	12,580
その他の	7,855	その他の	5,826
<b>固 定 資 産</b>	<b>256,617</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>142,185</b>
有形固定資産	185,650	社債及び長期借入金	112,005
建物	54,582	その他の	30,179
土地	126,833	<b>負 債 合 計</b>	<b>160,592</b>
建設仮勘定	3,322	<b>株 主 資 本</b>	<b>84,700</b>
その他の	911	資 本 金	270
無形固定資産	1,065	資 本 剰 余 金	10
投資その他の資産	69,902	資 本 準 備 金	10
		利 益 剰 余 金	84,419
		利 益 準 備 金	67
		その他利益剰余金	84,352
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	25,805
		その他有価証券評価差額金	25,805
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>110,505</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>271,097</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>271,097</b>

損益計算書の要旨

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	33,987	特 別 利 益	906
営 業 原 価	19,187	特 別 損 失	246
営 業 総 利 益	14,799	税 引 前 当 期 純 利 益	11,386
販売費及び一般管理費	4,472	法人税、住民税及び事業税	3,412
営 業 利 益	10,326	法 人 税 等 調 整 額	725
営 業 外 収 益	1,730	当 期 純 利 益	7,248
営 業 外 費 用	1,331		
経 常 利 益	10,726		

(2) 2020年3月期業績の前期比較と2021年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	2020年3月期	2019年3月期	増減	前期比
営業収益	33,987百万円	36,036百万円	▲ 2,048百万円	▲ 5.7%
営業利益	10,326百万円	10,655百万円	▲ 328百万円	▲ 3.1%
経常利益	10,726百万円	11,030百万円	▲ 304百万円	▲ 2.8%
当期純利益	7,248百万円	7,777百万円	▲ 528百万円	▲ 6.8%

②主要な収益項目の内訳

	2020年3月期	2019年3月期	増減	前期比
不動産賃貸収益	21,802百万円	20,559百万円	1,242百万円	+6.0%
分譲事業収益	7,839百万円	10,516百万円	▲ 2,677百万円	▲ 25.5%
不動産流動化事業収益	2,082百万円	2,575百万円	▲ 493百万円	▲ 19.2%
仲介鑑定・その他収益	2,263百万円	2,384百万円	▲ 120百万円	▲ 5.1%

③2021年3月期業績の見通し(単体)

	2021年3月期	2020年3月期	増減	前期比
営業収益	32,500百万円	33,987百万円	▲ 1,487百万円	▲ 4.4%
営業利益	11,000百万円	10,326百万円	673百万円	6.5%
経常利益	11,200百万円	10,726百万円	473百万円	+4.4%
当期純利益	7,700百万円	7,248百万円	451百万円	+6.2%

### (3) 2020年3月期業績の補足説明

#### ① 総括

当期の経営成績は保有ビルの空室率の低位安定・賃料単価上昇による貸家料の増加があった一方、分譲事業収益や不動産流動化事業収益の減少等があり、営業収益 33,987 百万円、営業利益 10,326 百万円、経常利益 10,726 百万円、当期純利益 7,248 百万円と前期比減収減益となりました。

#### ② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動・関係強化、賃料改定への注力及び前期・当期に竣工したビルが新規・通期稼働した結果、前期比 1,242 百万円増の 21,802 百万円となりました。

分譲事業につきましては、レフィール南麻布、ブリリア高輪レフィール等の販売が進捗したものの、大型案件がなく、前期比 2,677 百万円減の 7,839 百万円となりました。

不動産証券化事業につきましては、福岡天神のホテル（ザ・ビー福岡天神）の売却に伴う配当金収入増加要因の剥落から、前期比 493 百万円減の 2,082 百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業におきましては、仲介案件の大口成約件数が減少し、前期比 120 百万円減の 2,263 百万円となりました。

### (4) 2021年3月期業績見通しの補足説明

2021年3月期は、営業収益 32,500 百万円、営業利益 11,000 百万円、経常利益 11,200 百万円を見込み、営業利益は 673 百万円の増益、経常利益は 473 百万円の増益となる予想です。但し、上記業績見通しには、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮しておりません。

以上